

第1日目 3月27日 (木) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00		シンポジウム S04 [公開]
9:20	<p><東日本大震災></p> <p>101 岩船昌起(鹿児島大):消防団員による津波警戒時の門扉閉鎖と緊急避難行動</p>	<p>「地域調査士」を地理学のパスポートにするには —4年間の事業とこれから— 主催:日本地理学会理事会(資格専門委員会) オーガナイザー:日本地理学会資格専門委員会</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p>
9:40	102 岩鼻通明(山形大):観客アンケートにみる震災特集上映	S0401 鈴木厚志(立正大):「地域調査士」を地理学のパスポートにするには—4年間の事業とこれから
10:00	103 吉次 翼(慶應義塾大・院)ほか:平成三陸津波を契機とした集団移転事業の運用実態	司会:森本健弘(筑波大)
10:20	104 坪井塑太郎(日本大)ほか:東日本大震災における被災者の高齢者支援要望—2012年調査・自由回答記述の構造分析	<p>1) 鈴木厚志(立正大):趣旨説明と全体状況報告</p> <p>2) 事業内容報告</p> <p>①小原文明(法政大)・福井一良(大阪文化財研):講習会の運営と講習</p> <p>②石原 肇(東京都)ほか:資格取得の効果</p> <p>③宮地忠幸(国土館大)・高田明典(日本地図センター):制度導入による地理学教育への影響と連絡責任者アンケート分析結果</p> <p>④戸所 隆(高崎経済大):地域調査士制度に望むこと</p>
10:40	105 磯田 弦*・関根良平(東北大):陸前高田市における商業の現状と意向—津波被災地の復興過程の記録として	3) パネルディスカッション
11:00	106 谷川 徹(東北大・院)ほか:陸前高田市の消費者動向調査	司会:高岡貞夫(専修大)
11:20	107 龍崎 孝(横浜市立大・院):宮城県水産業復興特区政策がもたらす漁業コミュニティ内の分断に関する考察	<p>パネリスト</p> <p>野々村邦夫(日本地図センター)</p> <p>戸所 隆(高崎経済大)</p> <p>福井一良(大阪文化財研)</p> <p>長谷川 均(国土館大)</p> <p>須山 聡(駒澤大)</p> <p>石原 肇(東京都)</p>
11:40	108 宮原育子(宮城大)ほか:ジオツーリズムによる震災からの地域再生—南三陸海岸ジオパーク構想の実現に向けて	終了時刻 12:00
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第1日目 3月27日 (木) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
	<農業・農村>	
	401 橋爪孝介(筑波大・院):千葉県いすみ市における持続可能な漁業への取り組み	9:20
	402 崎田誠志郎(名古屋大・院):和歌山県串本町における地先漁業と漁場の共同管理	9:40
<観光>		
301 ラナウィーラゲ・エランガー(首都大・院):スリランカの保護区域における観光とその課題	403 藤岡悠一郎(近畿大)ほか:ナミビア北部に広がる季節湿地の自然環境と人々の認識——参加型農村開発に向けた景観分析	10:00
302 カウクルアムアン・アムナー(首都大・院):タイ・メーカンボン村におけるルーラルティの商品化—チェーンマイ在住日本人向けロングステイ・ツーリズムに着目して	404 川久保篤志(東洋大):鳥取県大山町における食と観光を柱とした地域振興策の展開	10:20
303 朝倉慎人(京都大・院):体験型観光地におけるルーラルティの意義—群馬県みなかみ町たくみの里を事例に	405 渡邊敬逸(人と防災未来センター):条件不利地域における人的支援の展開とその課題—新潟県小千谷市における地域復興支援員の活動を事例に	10:40
304 小室 譲(筑波大・院):長野県白馬村八方尾根スキー場周辺地域におけるインバウンドツーリズムの発展	406 菊地俊夫*(首都大)・田林 明(筑波大・名誉):大都市近郊における都市農業の再編とそれにもなう農村空間の商品化—東京都立川市砂川地区を事例にして	11:00
305 横内颯太*(北海道大・院)・橋本雄一(北海道大):北海道ニセコ町におけるICTを用いたスキーリゾート開発	407 田林 明(筑波大・名誉)・大石貴之*(筑波大・非):首都圏とその周辺における農村空間の商品化による観光振興の地域差	11:20
306 渡邊瑛季(筑波大・院):山梨県山中湖村におけるスポーツ合宿地域の持続システム	408 飯塚 遼(首都大・学振DC)ほか:イギリス農村地域における混住化とコミュニティの変容—ウェールズ・ガワー半島を事例として	11:40
-----		12:00
<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;"> 昼 休 み </div>		

第1日目 3月27日 (木) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		<地形> 601 高橋伸幸*(北海学園大)・水野一晴(京都在):ボリビアアンデス, チャルキニ峰周辺における周氷河環境
9:20	<地域研究(ヨーロッパ・北アメリカ)> 501 前田洋介(新潟大):イギリスにおける自治体内分権の展開と課題—ブリストル市の近隣委員会を事例に	602 山縣耕太郎*(上越教育大)・長谷川裕彦(山岳地理学研):ボリビアアンデス, チャルキニ峰西氷河前面における土壌発達過程と地表面環境
9:40	502 能代 透(横浜市立大・院):フランス都市空間の「危険な均衡」—ZUSに秘する権力のスキーム	603 長谷川裕彦*(山岳地理学研)・山縣耕太郎(上越教育大):ボリビアアンデス, チャルキニ峰西カールにおける小氷期堆石内の表層地質区分
10:00	503 高橋昂輝(駒澤大・院):トロントのポルトガル系社会における空間構造の変容	604 水野一晴*・小坂康之(京都在):ボリビア・アンデスのチャルキニ峰周辺における高山植生とリヤマ, アルパカの放牧活動
10:20	<地域研究(西・中央アジア)> 504 小川杏子(お茶の水女子大・院):アンカラの都市再開発と「ゲジェコンドゥ(不法居住住宅)」—都市空間をめぐる実践と表象	605 梶山貴弘*(日本大・院)・藁谷哲也(日本大):カラコラム山脈フンザ川流域における1965-2010年の氷河の末端変動と気候変動との関係
10:40	505 相馬拓也(カッセル大):イヌワシと鷲使いにみる「ヒトと動物の調和遺産」の可能性—モンゴル西部アルタイ系カザフ鷹狩文化の伝統知とその持続性の現場から	606 奈良間千之*(新潟大)・森田玲良(新潟大・学):中央アジア, 天山山脈における岩屑被覆氷河の出水現象
11:00	506 薩其拉(横浜国立大・院):定住化する遊牧社会における乳製品流通と小規模生産者の役割—内モンゴル自治区・シリンホト市周辺を事例として	607 渡邊達也*(道立総合研究機構地質研)・松岡憲知(筑波大):北極圏スピッツベルゲン島中央部における不淘汰構造土の動態と多様性
11:20	507 古澤 文*(愛知大)・渡邊三津子(奈良女子大):新疆ウイグル自治区における農産物の海外市場展開とその課題	608 澤柿教伸(北海道大)ほか:南極・昭和基地周辺の空中写真アーカイブデータ発掘とステレオペア画像を用いた氷床表面標高変化の検出
11:40	508 渡邊三津子*(奈良女子大)・古澤 文(愛知大):カザフスタン南東部における農産物の輸入増加と農業者たちの新たな取り組み	609 福井幸太郎*・飯田 肇(富山県立山カルデラ砂防博):立山・内蔵助雪渓と劔岳・池ノ谷右俣雪渓の氷厚と流動観測
12:00	<div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-top: 20px;">昼 休 み</div>	

第1日目 3月27日 (木) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><地図・GIS></p> <p>701 王尾和寿(筑波大)ほか:通学路における不安箇所 のマッピングとその空間的特徴—つくば市N小 学校区の事例</p>		9:00
<p>702 谷 謙二(埼玉大):時系列地形図閲覧サイト「今昔 マップ on the web」の開発</p>	<p><人口></p> <p>801 北島晴美(信州大):都道府県別高齢者夏季死亡 率と気温との関係</p>	9:20
<p>703 桐村 喬(学振PD・東京大・)ほか:方言の分析資 料としてのマイクロブログデータ—アンケート調査と の整合性</p>	<p>802 清水昌人(国立社会保障・人口問題研):非大都 市圏における社会減少のコーホート分析</p>	9:40
<p>704 秋本弘章(獨協大)ほか:地理教育用AR(拡張現 実)情報システム(1)</p>	<p>803 阿部智恵子*(石川県立看護大)・若林芳樹(首都 大):石川県かほく市における子育て支援センター の利用実態と課題</p>	10:00
<p>705 伊藤 悟(金沢大)ほか:地理教育用AR(拡張現 実)情報システム(2)</p>	<p>804 王 天天(東京大・院):制度改革の下で中国大都 市における家族の世代間関係とライフコース—北 京市を事例として</p>	10:20
<p>706 Ramdani Fatwa (東北大)ほか:Local Surface Temperature Rise Due to Expansion of Oil Palm Plantation in Indonesia</p>	<p>805 中澤高志(明治大)ほか:バンコクで働く日本人と 「日本市場」</p>	10:40
<p>707 山本遼介(首都大・院)ほか:オブジェクトベース画 像解析による都市域の土地被覆分類—東京都世 田谷区を対象に</p>	<p><都市></p> <p>806 馮 雷(東北大・院):中国における「分裂型都市 化」と「空城」の出現</p>	11:00
<p>708 佐藤廉也(九州大)・鳴海邦匡(甲南大)・小林 茂* (大阪大・名誉):U-2機撮影中国大陸空中写真の 研究資料としての利用可能性と課題</p>	<p>807 顧 江*(東北大・院)・日野正輝(東北大):北京 における1990年以降の住宅開発—リモートセンシ ングによる分析</p>	11:20
<p>709 小堀 昇(日本地図センター)ほか:米軍空中写真 による建物疎開地域の特定</p>	<p>808 黄 幸(九州大・院):ジェントリフィケーションの変 動と中国の都市における現状の分析</p>	11:40
<p>-----</p>		12:00
<p>昼 休 み</p>		

第1日目 3月27日 (木) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	<p><東日本大震災></p> <p>109 木庭元晴(関西大):福島県中通りに在住農家の外部被曝線量評価のための空間線量率</p>	<p><気候></p> <p>201 森島 済(日本大)ほか:ボリビア低緯度高山における気候環境</p>
13:20	<p>110 渡辺和之(立命館大・非):原発事故による畜産被害—福島県相馬市東玉野地区副霊山集落の例</p>	<p>202 柳場さつき(駒澤大・院)ほか:タイ北部フーン盆地周辺地域における降雨日周変動</p>
13:40	<p>111 関根良平(東北大)ほか:福島県いわき市における農産物風評被害のダイナミクス—第2回農産物購買行動アンケート</p>	<p>203 木村圭司*(北海道大)・篠田雅人(鳥取大):夏季モンゴルにおける低気圧・前線の移動と降水量分布</p>
14:00	<p>112 初澤敏生(福島大):福島県南相馬市原町地域における労働力不足問題</p>	<p>204 宮崎 真(国立極地研)ほか:シベリア北東部タイガ・ツンドラ境界域における熱・炭素収支の季節変化</p>
14:20	<p>113 三原昌巳(お茶の水女子大・研):東日本大震災後の福島県二本松市岳温泉地区における観光地としての震災復旧</p>	<p>205 坂本 壮(首都大・学)ほか:「まつぼり風」の実態と吹走メカニズムに関する実証的研究—現地調査とメソ気象モデルを用いて</p>
14:40		<p>206 松山 洋(首都大):「まつぼり風」吹走地域で暮らす方たちはこの局地風をどう捉えているのか? — (2) 子どもと大人では捉え方が違うのか?</p>
15:00	<p>15:00~16:30</p> <p>特別講演</p>	<p>207 濱島優大(立命館大・院):濃尾平野における冬の地上風系—気圧配置と地形に関連して</p>
15:20	<p>Doreen Massey (英国オープン・ユニバーシティ名誉教授):Geography and Politics</p>	<p>208 田宮兵衛:日本の季節2001-2010</p>
15:40	<p>司会・進行:熊谷圭知(お茶の水女子大)・森 正人(三重大)</p>	<p>209 青野靖之*・村上なつき(大阪府立大):冬季・春季の気温推移がソメイヨシノの開花状況の分布に及ぼす影響</p>
16:00		
16:20		
16:40	<p>16:30~17:00</p> <p>表 彰 式</p> <p>17:00~17:45</p> <p>会 長 講 演</p>	
17:00	<p>矢ヶ崎典隆(日本大):探検と発見のアメリカ地誌—地誌学の再構築に向けて—</p>	

第1日目 3月27日 (木) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p><観光></p> <p>307 杉本興運(首都大・学振DC):GISによるマクロレベルでの宿泊施設の立地特性分析</p> <p>308 中條暁仁(静岡大):離島における観光まちづくりの展開と課題—長崎県小値賀町の実践を事例として</p> <p>309 フンク・カロリン(広島大):直島におけるアート・ツーリズムの発展と観光者の特徴</p> <p>310 土谷敏治(駒澤大)ほか:観光鉄道としての大井川鉄道の課題</p> <p>311 中牧 崇(東洋大・非):山形県真室川町と群馬県沼田市(旧利根村)における森林鉄道の保存機関車の活用についての相違—地域資源としての位置づけに着目して</p> <p>312 南宮智娜(名古屋大・院):韓国と中国の旅行案内書にみる東京の観光名所の空間とその表象</p> <p>313 小池拓矢(首都大・院):甲府盆地における観光農園の立地と集客要因—甲州市勝沼地域を事例として</p> <p>314 坂口 豪(首都大・院):ジオパークの発展にともなう地域観光の再編とその持続性—ジオパーク秩父を事例にして</p> <p>315 磯野 巧(筑波大・学振DC):オーストラリア・カナウインカ地域におけるジオパーク運動の展開</p> <p>316 深見 聡*(長崎大)・大久保 守(長崎大・院):小規模島嶼におけるジオパーク構想の推進と課題—鹿児島県三島村を事例に</p>	<p><経済・産業></p> <p>409 古川智史(東京大・学振DC):日本の大手広告会社の海外展開とその再編</p> <p>410 趙 政原(東京大・院):創造産業集積地域における重層的な外的リンケージ—上海広告業を事例に</p> <p>411 加藤秋人(東京大・院):神奈川県における中小企業による試作品生産の現状と可能性</p> <p>412 岡部遊志(東京大・研):フランスにおけるクラスター政策と国際競争力</p> <p>413 山下 潤(九州大):スウェーデンにおける知識スピルオーバーの環境産業集積への影響</p> <p>414 河本大地(神戸夙川学院大):日本における有機農産物産地の分布とその規定要因</p> <p>415 鷹取泰子(農政調査委員会):屋外型有機市場を通じたローカル・フードシステムの展開—北海道十勝地方の有機農家ネットワークを事例として</p> <p>416 村上 格(北海道大・院):北海道における酪農地域の維持基盤</p> <p>417 荒木一視(山口大)ほか:第3次フードレジームとアジア太平洋地域の農産物貿易</p> <p>418 Makosa Dan*(東京農業大・院)・高柳長直(東京農業大):Upgrading Uganda's Rice Markets: Constraints and Opportunities</p> <p>419 宇根義己*・友澤和夫(広島大):インドにおける「もう一つの工業化」—デリーのムスリム地区ジャミア・ナガールにおける繊維生産</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 3月27日 (木) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
13:00	<p><地域研究(東南・南アジア)></p> <p>509 横山 智*(名古屋大)・インサイ・パンサイ(名古屋大・院):ラオス北部の中国国境地域における契約栽培</p>	<p><地形></p> <p>610 荻谷愛彦(専修大)ほか:上高地・奥又白谷で完新世にくり返し発生した岩石なだれ</p>
13:20	<p>510 白坂 蕃(帝京大)ほか:マレーシア Cameron Highlandsにおけるヒル＝ステーションの展開と蔬菜栽培</p>	<p>611 高岡貞夫(専修大):日本アルプスの高山帯および亜高山帯上部に分布する湖沼の成因―地すべり地形に着目して</p>
13:40	<p>511 遠藤 尚(高知大)ほか:西ジャワ州チラタ湖南岸農村における世帯生計と自然資源利用</p>	<p>612 清水長正(駒澤大・非)ほか:2009～2013年の北八ヶ岳地獄谷における氷塊と火口湖の推移</p>
14:00	<p>512 南埜 猛(兵庫教育大):インドにおける溜池とその現状</p>	<p>613 佐々木夏来*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):八幡平火山群の大規模地すべり地における湿地の分布と発達過程</p>
14:20	<p>513 水嶋一雄(日本大):パキスタン北部地域ゴジャール地区フセイニ村の灌漑用水問題</p>	<p>614 遠藤 涼(東京大・学)ほか:木曾駒ヶ岳東部における多重山稜の形成プロセスの推定</p>
14:40	<p><地域研究(南アメリカ・アフリカ)></p> <p>514 沖津 進(千葉大):南米ボリビアアルティプレーノの生態地理景観</p>	<p>615 曾根敏雄(北海道大)ほか:福島県御霊櫃峠における表面礫移動の観測</p>
15:00	<p>515 伊藤千尋(学振PD・横浜市立大):ジンバブウェ・カリバ湖の漁業資源をめぐる社会の動態</p>	<p>616 大丸裕武(森林総合研)ほか:2009年に防府地域で発生した表層崩壊の歴史的背景</p>
15:20	<p>516 手代木功基(総合地球環境学研)ほか:ナミビア半乾燥地域の耕作地におけるギョウギシバの分布と農耕との関係</p>	<p>617 阪田知洋*(東北大・院)・大月義徳(東北大):石狩川上流における湖成堆積物の分布と氷河地形</p>
15:40	<p>517 原 将也(京都大・学振DC):アフリカ・ザンビアの多民族農村にみられる人口流入と生活世界</p>	<p>618 石井祐次*(名古屋大・院)・堀 和明(名古屋大):石狩低地にみられる三日月湖の過去数百年の古洪水記録</p>
16:00	<p>518 大和田美香(東北大・院):ルワンダ南部県フイエ郡における一村一品運動とコーヒー生産者の現状</p>	<p>619 Kay Thwe Hlaing(三重大)ほか: Preliminary Study on the Environmental Changes of the Ayeyarwady River Delta: Nyaungdon Borecore Area</p>
16:20	<p>519 吉田栄一(横浜市立大):発展途上国の農村開発におけるアクターネットワークと開発の領域化―マラウイー村一品運動の事例</p>	<p>620 平井幸弘(駒澤大)ほか:ベトナム中部タムジャンラグーンの海岸地帯における海岸侵食の影響と対応</p>
16:40		
17:00		

第1日目 3月27日 (木) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p style="text-align: center;">地理教育公開講座</p> <p style="text-align: center;">アメリカ世界地誌Q&A「エスニシティ・フード ビジネス・グレートプレーンズ・デモクラシー」</p> <p style="text-align: center;">日本地理学会地理教育公開講座委員会</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>講師: 矢ヶ崎典隆 (日本大), 高柳長直 (東京農業大), 深瀬浩三 (鹿児島大) コメンテーター: 寺本 潔 (玉川大), 山内洋美 (宮城県塩釜 高)</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 15:30</p>	<p><都市></p> <p>809 柴田陽一 (京大・研): 吉林省松原市中心部にお ける都市化の進展と小学校通学区の変化</p> <p>810 小野寺 淳 (横浜市立大): 中国における資源開発 と都市形成—吉林油田を事例に</p> <p>811 山下博樹* (鳥取大)・北川博史 (岡山大): 米国ア リゾナ州における小規模中心地の盛衰とフェニックス 都市圏の経済開発の特性</p> <p>812 西山弘泰 (うつのみや市政研究センター): 宇都宮 市における空き家の空間的特徴</p> <p>813 久保倫子 (岐阜大)ほか: 茨城県牛久市における 空き家増加問題の地誌学的分析</p> <p>814 青井新之介* (明治大・学)・中澤高志 (明治大): 東京圏における世帯内単身者とブルーカラー従事 者の空間パターンの変容—展開法の応用</p> <p>815 山田彩未 (東京大・院): 水需要増加に対応した水 道事業広域化—高度経済成長期以降の埼玉県・ 神奈川県を事例として</p> <p>816 山島有喜 (東京大・学): 東京都港区における屋上 緑化の進展過程</p> <p>817 秋元裕介 (東京大・院): 消費空間としてのフリー マーケットにおける空間マネジメント—東京都を事 例として</p> <p>818 泉谷 拓 (早稲田大・院): 都市再開発をめぐる合 意形成過程にみられる変化—大宮駅東口地域を 事例として</p> <p>819 箸本健二 (早稲田大): 中心市街地の大型店撤退 跡地におけるダウンサイジング型再開発の試み— 長崎県諫早市を事例に</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 3月27日 (木) 午後

開始時刻	第 9 会 場	
13:00	シンポジウム S01 [公開]	
	レジリエントな国土・地域社会の構築に 向けた地理学的課題	
13:20	主催: 日本地理学会理事会(災害対応委員会) オーガナイザー: 小荒井 衛(国土地理院)・芮 京禄(千葉大) ・熊木洋太(専修大)	
13:40	開始時刻 13:00	
	13:00~13:05 <趣旨説明> S0101 小荒井 衛(国土地理院)ほか: シンポジウム「レジ リエントな国土・地域社会の構築に向けた地理学 的課題」の趣旨説明	
14:00	第1部 レジリエントな国土構築における地域区分と地理 空間情報の役割	
	座長: 小荒井 衛(国土地理院)	
14:20	13:05~13:25 S0102 芮 京禄(千葉大): 英国における国土のエリアマ ネジメントの手法—国内展開の可能性	
14:40	13:25~13:45 S0103 上原三知(信州大): 環境指標の総合性と使いや すさ—1980年の環境資源目録データとその環境 評価プロセスの現代的意義	
15:00	13:45~14:05 S0104 杉本直也(静岡県庁): GISによる防災情報の発信 とオープンデータへの取組	
15:20	<コメント> 14:05~14:10 確井照子(全国GIS技術研究会)	
	<質疑応答> 14:10~14:20	
	<休 憩> 14:20~14:30	
15:40	第2部 レジリエントな国土構築における国土計画・地域計 画の役割	
	座長: 芮 京禄(千葉大)	
16:00	14:30~14:50 S0105 戸所 隆(高崎経済大): 開発哲学の再構築による 災害に強い国土構造のあり方—首都機能移転と 集約型都市構造への転換を中心に	
16:20	14:50~15:10 S0106 川上征雄(都市未来総合研): 国土計画行政にお ける地域の分析	
16:40	15:10~15:20 コメント 中林一樹(明治大)・氷見山幸夫(北海道教育大)	
	<質疑応答> 15:20~15:30	
	<総合討論> 15:30~16:30 座長: 熊木洋太(専修大)・小荒井 衛(国土地理院)	
17:00	終了時刻 16:30	

第2日目 3月28日 (金) 午前

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
<p><東日本大震災></p> <p>114 青山雅史(日本地図センター):東北地方太平洋沖地震による内陸部における液状化発生率</p> <p>115 阿部朋弥*(名古屋大・院)・海津正倫(奈良大):仙台平野・石巻平野における2011年東北地方太平洋沖地震津波による堆積物分布と流向との関係</p> <p>116 島津 弘(立正大):宮城県名取川下流堤外地における2011年地震津波の遡上およびその後の洪水による浸水と農地の耕作放棄</p> <p><災害></p> <p>117 内山庄一郎(防災科学技術研)ほか:災害事例データベースの構築とAPI配信</p> <p>118 鈴木比奈子(防災科学技術研)ほか:SfMの歴史災害資料への適用と可能性—石碑文字列の判読と震災遺構アーカイブの試み</p> <p>119 花岡和聖(東北大)ほか:フィリピン台風ハイエン被災地の被害状況と復旧・復興—被災者名簿及び現地調査に基づく分析</p> <p>120 瀬戸真之*・高木 亨(福島大):災害による社会問題の変容に注目した復興プロセスのモデル化に関する研究</p> <p>121 森田匡俊(愛知工業大)ほか:集団での津波避難行動に関する分析</p> <p>122 村山良之*・八木浩司(山形大):ヒマラヤ山麓の学校における防災教育実践—斜面・土石流災害を対象として</p>	<p><気候></p> <p>210 花井嘉夫*(信州大・院)・榊原保志(信州大):移動観測による広域気圧分布測定を試み</p> <p>211 中村祐輔*(立正大・学)・重田祥範(立正大):郊外の選定方法の違いがヒートアイランド強度に与える影響</p> <p>212 武田亘典(駒澤大・院):札幌市におけるヒートアイランドとその形成要因</p> <p>213 高橋日出男(首都大)ほか:冬季の晴天弱風夜間における東京都区部を中心とした気温分布</p> <p>214 遠藤伸彦*(海洋研究開発機構)・松本 淳(首都大):旧フランス領インドシナの気象観測資料復元—ベトナム中部の秋季降水特性変動に着目して</p> <p>215 鈴木勇人*(首都大・院)・松本 淳(首都大):1931-2010年の区内観測所データによる日本における強雨の経年変化</p> <p>216 山本晴彦(山口大):帝国日本における気象観測ネットワークの構築—満洲・関東州</p> <p>217 平野淳平(防災科学技術研)ほか:山形県川西町における古日記天候記録にもとづく1830年代以降の盛夏期の気温復元</p> <p>218 野上道男:2世紀末タウポ火山大噴火による冷夏凶作と倭国乱</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月28日 (金) 午前

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
9:00	<p><政治・社会></p> <p>317 香川雄一*・岡島早希(滋賀県立大):名古屋飛行場周辺地域における航空機騒音問題に対する地域住民意識</p>	
9:20	<p>318 全 ウンフィ(大阪市立大):ネット発社会運動における場所感覚の役割—00年代韓国における「ウトロ地区」支援運動を事例に</p>	
9:40	<p>319 本岡拓哉(同志社大):戦後都市における河川敷居住の存続要因—熊本・白川を事例に</p>	
10:00	<p>320 香川 仁(名古屋大・院):小学校統廃合と義務教育財政の地域差</p>	<p><経済・産業></p> <p>420 和田 崇(県立広島大):日本におけるインド映画の撮影支援</p>
10:20	<p>321 水野 勲(お茶の水女子大):地名の集合論と空間の政治—原発事故後の「福島」の地理的スケール</p>	<p>421 原 真志(香川大):ハリウッド映画プロジェクトの開発と実行におけるローカル&グローバルコーディネーション—VFXスーパーバイザーの年間コンタクトアナリシス</p>
10:40	<p>322 近藤祐磨(岡山大・学):環境保全運動における主体および環境に対する意味づけの多様性—福岡県糸島市の海岸林保全運動を事例として</p>	<p>422 乾 睦子(国士舘大):瀬戸内海沿岸の花崗岩石材産地と近代以降の石材産業</p>
11:00	<p>323 池田真利子(筑波大・学振DC):ベルリンの旧東西境界域における構造的変容と文化施設を巡る葛藤</p>	<p>423 佐藤彩子(九州大・院):介護企業経営者の職業キャリアと地域間移動—福岡市を事例として</p>
11:20	<p>324 高木彰彦(九州大)ほか:『地理学評論』と『人文地理』に掲載された論文と著者の特徴</p>	<p>424 上村博昭*(東京大・院)・箸本健二(早稲田大):大規模化に伴う離島事業者の流通・販売戦略—海士町CAS事業の事例</p>
11:40	<p>325 宇都宮陽二郎(三重大・名誉):日本地球儀製作史—構造及び技術的側面から見た製作史</p>	<p>425 青山一郎(ペーパーメディア研):新聞販売店の立地と新聞販売部数</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第2日目 3月28日 (金) 午前

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
<p><地域研究(東南アジア)></p> <p>520 丹羽孝仁(東北大・研)ほか:タイ, バンコクにおける日本人居住者の特徴</p> <p>521 由井義通(広島大)ほか:海外就職における人材会社の役割—バンコクの事例</p> <p>522 鎌塚賢太郎(龍谷大)ほか:バンコクにおける日本語コールセンター立地とサービスの担い手</p> <p><地域政策></p> <p>523 森嶋俊行(東京大・研):近代化遺産総合調査における調査対象の分布と類型</p> <p>524 呉 鎮宏(早稲田大・院):産業遺産によるまちづくりに関する研究—群馬県桐生市桐生地区を事例として</p> <p>525 瀬戸寿一*(東京大)・杉本直也(静岡県庁):地理空間情報のオープンデータ化とその活用可能性—静岡県を事例に</p> <p>526 中村 努(東京大・研):地域医療連携システムの利用における地域的偏在とその要因—大村東彼薬剤師会会員薬局に対するアンケート結果から</p> <p>527 佐竹泰和*(東京大・院)・荒井良雄(東京大):条件不利地域における宿泊業のブロードバンド需要と課題—北海道上川町層雲峡地区を事例に</p> <p>528 畠山輝雄(鳴門教育大):自治体広告事業の広告到達範囲と広告効果—徳島県の公共施設へのネーミングライツを事例として</p>	<p><地形></p> <p>621 大井信三*(国土地理院)・西連地信男(東海村白方小):那須火山岩層なだれ堆積物のテフラ層序と航空レーザDEMによる分布特性</p> <p>622 鈴木毅彦(首都大)ほか:山形盆地北部, 村山市浮沼における盆地地下堆積物と第四紀後期テフラ</p> <p>623 笠原天生(首都大・院)ほか:米沢盆地北東部, 白竜湖付近の地下における後期更新世テフラ</p> <p>624 佐藤 浩*・青山雅史(日本地図センター):米軍空中写真を用いた尾鷲市南部の1944年東南海地震による津波痕跡の判読</p> <p>625 黒木貴一(福岡教育大):堤外への微地形解析の改善と意義—「微地形と地理学」グループ発表①</p> <p>626 八木令子(千葉県立中央博)ほか:屏風ヶ浦海食崖の景観を構成する微地形とその評価—「微地形と地理学」グループ発表②</p> <p>627 小岩直人(弘前大)ほか:微地形分布から考察する砂嘴の形成プロセス—タイ王国バカラン岬における2004年インド洋大津波後の事例—「微地形と地理学」グループ発表③</p> <p>628 北村 繁(弘前学院大):中米・エルサルバドル共和国南部海岸低地の微地形とイロバongo火山3～6世紀噴火のTBJテフラ—「微地形と地理学」グループ発表④</p> <p>629 竹内裕希子(熊本大):学校の立地と防災—「微地形と地理学」グループ発表⑤</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月28日 (金) 午前

開始時刻	第 7 会 場	第 8 会 場
	<地理教育>	<歴史・文化>
9:00	710 池下 誠(広島大・院):思考力・判断力・表現力を育成する中学校社会科地理的分野の学習指導の在り方—ESDの視点を取り入れることを通して	820 小荒井 衛(国土地理院)ほか:地理学的地域特性区分についての考察
9:20	711 阪上弘彬(広島大・院):ドイツ地理教育におけるESDの取り組み—ラインラント＝プファルツ州を事例に	821 廣瀬俊介(東北芸術工科大):地理学を生かしたランドスケープデザイン #2—福島県浪江町における住民との地生態学的調査を例として
9:40	712 久保田 充(サレジオ学院・非):高校生の「日本の南極観測事業」への意識と南極を通しての環境教育の可能性—南極を通してのESD	822 植草昭教:幕張新都心の景観形成と都市機能
10:00	713 岩本廣美(奈良教育大):1947年発行社会科読本『社会への旅』の内容と背景—地理的側面を中心にして	823 卯田卓矢(筑波大・院)ほか:参拝行動からみたニュータウン地区の特性—常総市内守谷町きぬの里を事例として
10:20	714 吉田 剛(宮城教育大):東アジアの華人系地理カリキュラムの分析—中国と香港の比較	824 小田匡保*(駒澤大)・近藤 碧(元・駒澤大・学):横浜市における平成期の民営墓地の立地と空間構成
10:40	715 南 春英(法政大・院):日本の高校地理教科書における中国に関する記述の変遷	825 石坂 愛(筑波大・院):都市構想をとりまく主体間協力・競合からみる「理想的な宗教都市」への課題—奈良県天理市を事例に
11:00	716 松浦直裕(石川県立金沢伏見高):オーストラリア理解をどのように進めるか—日豪関係を中心に	826 竹田智道(法政大・院):参詣団体の属性と参詣行動による大雄山信仰圏の地域区分
11:20	717 鈴木 允(桐朋中・高):人口問題を地誌の枠組みで捉える高校地理 学習指導案—愛知県旧藤岡町を事例として	827 横山秀司(九州産業大):福岡県における古窯立地の自然的・歴史的背景
11:40	718 権田与志道(長野市立広徳中):中学校社会科地理・歴史・公民の分野連携による防災教育の公立中学校における実践	828 吉田国光(金沢大)ほか:熊本県天草市崎津地区における生業変化からみた重要文化的景観の諸相
12:00	-----	
	昼 休 み	

第2日目 3月28日 (金) 午前

第 9 会 場	A207	開始時刻
シンポジウム S02 [公開] ジオパークと地理学	シンポジウム S03 [公開] 日本地理学の国際化	9:00
主催: 日本地理学会理事会(ジオパーク対応委員会) オーガナイザー: ジオパーク対応委員会	主催: 日本地理学会理事会(企画専門委員会) オーガナイザー: 村山祐司(筑波大)・一ノ瀬俊明(国立環境研)・石川 徹(東京大)・水谷千亜紀(国立環境研)	9:20
開始時刻 9:30	開始時刻 9:00	
9:30~9:40 <趣旨説明>	9:00~9:10 <趣旨説明>	9:40
S0201 菊池俊夫(首都大): シンポジウムの趣旨: ジオパークと地理学	S0301 村山祐司(筑波大): 日本地理学の国際化—シンポジウムの趣旨説明	
第1部 ジオパークの企画運営における地理学的視点の重要性	9:10~10:28 司会: 石川 徹(東京大)	
座長: 有馬貴之(首都大)・目代邦康(自然保護助成基金)	S0302 石川義孝(京都大): 京都国際地理学会議と日本の地理学	10:00
9:40~10:10	S0303 二村太郎(同志社大): アメリカ地理学からみた日本の地理学	
S0202 柚洞一央(室戸ジオパーク推進協議会): 「地質の公園」から「大地の公園」へ—室戸ジオパークにおける地理学の役割	S0304 加賀美雅弘(東京学芸大): ヨーロッパからみた日本地理学—国際化するドイツ地理学からの検討	10:20
S0203 新名阿津子(鳥取環境大): 山陰海岸ジオパークでの実践から考える地理学・地理学者の役割	S0305 一ノ瀬俊明(国立環境研): アジアにおける日本地理学のプレゼンス	
10:10~10:20 学術的立場からのコメント	S0306 小口 高(東京大): 国際学術誌と日本地理学	10:40
岩田修二・渡辺梯二(北海道大)	S0307 春山成子(三重大): 国際共同研究と海外学術調査にむけて	
10:20~10:30 企画運営的立場からのコメント	10:38~11:17 司会: 水谷千亜紀(国立環境研)	
青木賢人(金沢大)	S0308 荒木一視(山口大): 日韓中地理学会議と今後の課題	11:00
第2部 地理学的視点から見たジオパークの価値の評価	S0309 井田仁康(筑波大): 国際地理オリンピックと今後の課題	
座長: 中井達郎(国士舘大)・河本大地(神戸夙川学院大)	S0310 氷見山幸夫(北海道教育大): Future Earth計画における地理学の役割	11:20
10:30~11:15	<コメント> 11:17~11:30	
S0204 目代邦康(自然保護助成基金): 日本ジオパークの審査制度と地理学視点	矢ヶ崎典隆(日本大): 国際的プレゼンスを高めるために	11:40
S0205 渡辺真人(産業技術総合研): 世界のジオパークでガイドはどんなことを語っているか—世界ジオパーク現地審査の経験から	司会: 村山祐司(筑波大)・一ノ瀬俊明(国立環境研)	
S0206 小泉武栄(東京学芸大): ジオパークの審査に当たって地理学者が期待される役割	<総合討論> 11:30~12:00	
<コメント> 11:15~11:25 菊池俊夫(首都大)		
<総合討論> 11:25~12:00		
座長: 目代邦康(自然保護助成基金)・有馬貴之(首都大)	終了時刻 12:00	12:00
終了時刻 12:00		
昼 休 み	昼 休 み	

第2日目 3月28日 (金) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	シンポジウム S06 ジェントリフィケーションと現代都市の 形態変化	シンポジウム S07 生き物を飼育することと地域社会 —ミツバチとヒト、魅惑のかかわりを考える—
13:20	オーガナイザー: 日野正輝(東北大)・西原 純(静岡大)・阿部和俊(愛知教育大・名誉)・藤塚吉浩(大阪市立大) 開始時刻 13:00	オーガナイザー: ネイチャー・アンド・ソサエティ研究グループ 開始時刻 13:00
13:40	13:00~13:10 <趣旨説明> 藤塚吉浩(大阪市立大)ほか: ジェントリフィケーションと現代都市の形態変化—シンポジウムの趣旨説明	13:00~13:05 <趣旨説明> 柚洞一央(室戸ジオパーク推進協議会) 座長: 池口明子(横浜国立大)
14:00	座長: 豊田哲也(徳島大)	13:05~13:20 S0701 中村 純(玉川大): 「社会」を単位に生きるミツバチ
14:20	13:10~13:30 S0601 キーナー・ヨハネス(大阪市立大): インナーシティにおける歴史的建造物の再利用とジェントリフィケーション—大阪市中崎界限を事例に	13:23~13:38 S0702 野中健一(立教大): 人類史における養蜂への地理学的視点
14:40	13:30~13:50 S0602 山田浩久(山形大): 東京特別区におけるジェントリフィケーションに関する地代論的考察	13:41~13:56 S0703 ペイン・シャーロット(立教大・研): 中部地方における地蜂飼育伝統の変転期 座長: 吉田国光(金沢大)
15:00	13:50~14:10 S0603 超 章(同済大): Dilemma of Authenticity: Field Analysis of the Local Residents in a Gentrifying Neighbourhood in Shanghai 座長: 山下宗利(佐賀大)	13:59~14:14 S0704 上村早江子(愛知淑徳大・学)ほか: 名古屋市内における都市養蜂を生かしたまちづくりへの高校生の貢献
15:20	14:10~14:30 S0604 堀 純(筑波大): シドニーにおけるジェントリフィケーション	14:17~14:32 S0705 柚洞一央(室戸ジオパーク推進協議会): 近代産業としての養蜂
15:40	14:30~14:50 S0605 藤塚吉浩(大阪市立大): ロンドン北東部におけるジェントリフィケーション	<休 憩> 14:32~14:45 座長: 池口明子(横浜国立大)
16:00	<コメント> 15:00~15:30 原口 剛(神戸大)・大場茂明(大阪市立大)	<コメント> 14:45~15:20 14:45~15:00 鈴木義久(三重県中央家畜保健衛生所) 15:00~15:10 石塚武夫(養蜂家・元JICA短期派遣専門家(養蜂)) 15:10~15:20 高橋春成(奈良大)
16:20	<総合討論> 15:30~16:20 座長: 豊田哲也(徳島大)・山下宗利(佐賀大)	<総合討論> 15:20~15:50
16:40	<まとめ> 16:20~16:30 日野正輝(東北大)	終了時刻 15:50
17:00	終了時刻 16:30	

第2日目 3月28日 (金) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
シンポジウム S08	シンポジウム S05	13:00
持続可能な交通システムの構築に向けた 地理学からのアプローチ オーガナイザー: 土谷敏治(駒澤大)・井上 学(平安女学 院大)・今井理雄(駒澤大)・山田淳一(立正大・非) 開始時刻 13:00	微地形と地理学 —その応用と展開— オーガナイザー: 藤本 潔(南山大)・宮城豊彦(東北学院 大)・西城 潔(宮城教育大)・竹内裕希子(熊本大) 開始時刻 13:00	13:20
13:00～13:10 <趣旨説明>	13:00～13:15 <趣旨説明>	13:40
S0801 土谷敏治(駒澤大)ほか:【趣旨説明】持続可能な交通システムの構築に向けた地理学からのアプローチ	S0501 藤本 潔(南山大)ほか:微地形と地理学—その応用と展開:趣旨説明	14:00
第1部 行政・市民・事業者の視点から見た公共交通と地理学	第1部 微地形と植生・土壌	14:20
13:10～13:35	13:15～13:35	14:40
S0802 鈴木隆之(ひたちなか市):公共交通における行政の役割—ひたちなか市の公共交通施策	S0502 若松伸彦(東京農業大):植生研究における微地形の重要性	14:20
13:35～13:50	13:35～13:55	14:40
S0803 上野山隆一*・山田圭寿(函館市陣川あさひ町会・Jバス運営委員会):市民の立場で行う公共交通サービスの確保—函館市・Jバス運行を事例に	S0503 大貫靖浩(森林総合研):微地形分類に基づいた森林土壌の物理特性の推定と類型化	14:40
13:50～14:05	13:55～14:15	14:40
S0804 豊田 賢(両備ホールディングス):事業者の立場から見た地方公共交通の課題とその対策—両備グループの取り組みを事例に	S0504 瀬戸真之(福島大):森林限界下の微地形と周水河環境	14:40
14:05～14:20	第2部 微地形と災害	15:00
S0805 鈴木文彦(交通ジャーナリスト):公共交通を取り巻くステークホルダーの関係性と地理学	14:15～14:35	15:00
第2部 持続可能な交通システムを考える地理学の視点	S0505 宮城豊彦(東北学院大)ほか:地すべり地形の危険度評価と微地形	15:20
14:30～14:45	14:35～14:55	15:20
S0806 秋元菜摘(東京大・院):モビリティ確保のまちづくり—富山市のクラスター型コンパクトシティ政策	S0506 小野映介(新潟大):考古遺跡からみた氾濫原の微地形と災害	15:20
14:45～15:00	14:55～15:15	15:40
S0807 田中耕市(茨城大)ほか:持続可能な交通システムの構築に向けた地理学からのアプローチ—フードデザート問題と住民のモビリティ	S0507 岩船昌起(鹿児島大):健康地理学と微地形環境—災害時の人間行動の時空間スケール	15:40
15:00～15:15	第3部 微地形と人間活動	15:40
S0808 田中健作(豊田工業高専):山村におけるボランティア有償運送と住民生活とのかかわり—徳島県上勝町の事例	15:15～15:35	16:00
15:15～15:30	S0508 西城 潔(宮城教育大):微地形と里山利用—木炭生産を例に	16:00
S0809 今井理雄*(駒澤大)・井上 学(平安女学院大):モビリティ・マネジメントにおけるバスマップの役割—交通地理学からのアプローチ	15:35～15:55	16:20
第3部 総合討論	S0509 大月義徳(東北大):乾燥—半乾燥地域の地形変化と農業的土地利用	16:20
<パネルディスカッション> 15:40～16:45	15:55～16:15	16:20
コーディネーター:土谷敏治(駒澤大)	S0510 池谷和信(国立民族学博):様々な気候帯における人間活動と微地形利用	16:40
<コメント> 16:45～17:00	第4部 コメントおよび総合討論	16:40
大島登志彦(高崎経済大)・須田昌弥(青山学院大)	16:15～16:30	16:40
終了時刻 17:00	S0511 田村俊和(立正大):微地形の基礎と応用をめぐって—シンポジウムへのコメント	16:40
	<総合討論とまとめ> 16:30～17:00	17:00
	終了時刻 17:00	17:00

第2日目 3月28日 (金) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
13:00	<p><水文></p> <p>529 朝日克彦(信州大):日本アルプスにおける2013年越年性雪渓分布と動態</p>	<p><地形></p> <p>630 今泉俊文(東北大)ほか:山形盆地西縁断層帯(村山地区)の変動地形と地下構造</p>
13:20	<p>530 久富悠生(首都大・学)ほか:武蔵野台地における浅層地下水流動に関する研究—MODFLOWを用いて</p>	<p>631 小坂英輝(環境地質)ほか:仙台市街地にあらわれた大年寺山断層の断層露頭</p>
13:40	<p>531 宮島聖也(首都大・学)ほか:造成土における土壌の構造が地温・土壌水分変化に及ぼす影響</p>	<p>632 大上隆史(中央大):三陸海岸北部の河床縦断形の特徴と地殻変動への応答</p>
14:00	<p>532 Nguyen Cong Thuan*(カントー大)・飯泉佳子(国際農林水産業研究センター):Comparative Study on the Feeding Habits of Farmed and Wild Snakeskin Gourami Using Stable Carbon and Nitrogen Isotopes</p>	<p>633 清水龍来(信州大・院):新潟県米山海岸地域における海成段丘の分布高度と後期更新世以降の地殻変動</p>
14:20	<p>533 小島千鶴*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):群馬県大間々扇状地における地下水硝酸態窒素濃度の地域特性</p>	<p>634 熊原康博*(広島大)・橋爪 誠:群馬県北東部片品川流域における活断層の変位地形の再検討</p>
14:40	<p>534 齋藤 圭*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):インクル湖およびその集水域の水環境に関する水文地理学的研究(1)</p>	<p>635 山内一彦*(山口県立岩国高)・白石健一郎(山口県立防府高):中国山地西部、宇佐川—高津川間の河川争奪と冠山断層・宇佐郷断層の断層変位地形</p>
15:00		<p>636 渡辺満久*(東洋大)・中田 高(広島大・名誉):新規基準による原発安全審査の留意点—変動地形学的視点からの具体的指摘</p>
15:20		<p>637 中田 高(広島大・名誉)ほか:小型UAVと写真測量ソフトを用いた簡易地形計測—2013年ボホール地震断層の緊急調査を例に</p>
15:40		<p>638 菅 浩伸(岡山大)ほか:高解像度マルチビーム測深による浅海底地形学の開拓と関連諸科学への応用</p>
16:00		<p>639 長谷川 均(国士館大)ほか:ヨルダン渓谷を撮影した1950年代初頭の空中写真—その概要と保存・修復</p>
16:20		<p>640 東郷正美(法政大)ほか:ヨルダン、Karamah地区におけるヨルダン・ヴァレー断層帯の最近の活動</p>
16:40		
17:00		

第2日目 3月28日（金）午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p><地理教育></p> <p>719 志村 喬(上越教育大):小学校・中学校社会科における教員の地理的専門性と授業実態—新潟県上越地方における社会科授業アンケート調査から</p> <p>720 小林岳人(千葉県立松戸国際高):高等学校地理授業でのオリエンテーリング実習とその効果についての研究</p>	<p><歴史・文化></p> <p>829 長谷川奨悟(学振PD・京都府立大):山本泰順『洛陽名所集』にみる名所観</p> <p>830 網島 聖(京都大・院):明治後期における医薬品業界新聞の情報ネットワークと読者の役割</p> <p>831 山下 翔(名古屋大・院):名古屋の米騒動における群集行動に関する研究</p> <p>832 山元貴継(中部大)ほか:沖縄本島南部における「格子状集落」の形成—南城市玉城・前川集落などを事例に</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第2日目 3月28日（金）午後

開始時刻	第 9 会 場	
	<植生>	
13:00	901 田代 崇(日本大・院)ほか:ボーリング試料にみられるフィリピン・ルソン島中央平原/パイタン湖周辺域における古植生景観と古気候との関係	
13:20	902 吉田圭一郎(横浜国立大)ほか:山岳氷河の後退域における種多様性パターン	
13:40	903 阿子島 功(山形大・非)ほか:ペルー, ナスカ盆地周辺の山地斜面の古環境指標としての陸生巻貝について(3)	
14:00	904 小川滋之(千葉大):外秩父山地の蕨山におけるヤエガワカンバ小林分の成因	
14:20	905 泉 岳樹(首都大)ほか:UAVによる超高解像度画像を用いた海岸林の実態把握の試み—宮城県岩沼市を対象に	
14:40	906 安田正次*(千葉大)・大丸裕武(森林総合研):黒部川源流部における植生変化とその気候的要因	
15:00		
15:20		
15:40		
16:00		
16:20		
16:40		
17:00		

第1・2日目 3月27・28日 (木・金)

第10会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(木)10時~17時と3月28日(金)9時~15時に行われます。

発表者による説明は、3月27日(木)12時~12時30分もしくは3月28日(金)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P001	大井信三(国土地理院)ほか:5万分の1地質図幅「茂原」の地形考察	P015	奈良間千之(新潟大)ほか:天山山脈とラダーク山脈の水河湖と氷河湖決壊洪水
P002	中田 高*(広島大・名誉)・渡辺満久(東洋大):プレート境界型アスベリティ地震モデルへの疑問	P016	滝澤みちる(東京大・院)ほか:MD179海底コアの粒度変動からみた日本海上越沖とその周辺域における最終間氷期以降の環境変動
P003	八木浩司(山形大)ほか:重力性山体変形現象の発達時間スケールと地震—静岡県口坂本地すべり上部・大日峠稜線での掘削調査	P017	山村祥子*(新潟大・学)・奈良間千之(新潟大):キルギス・アラト山脈における永久凍土環境考察
P004	岡田真介(東北大)ほか:仙台平野南部に伏在する活断層とその地下構造—反射法地震探査および重力探査に基づいて	P018	飯島慈裕(海洋研究開発機構)ほか:東シベリア連続永久凍土帯における活動層の熱・水環境変化の長期変動
P005	西井稜子(筑波大)ほか:重力性変形地形の形成時期とその発生誘因についての検討	P019	乙幡康之*(ひがし大雪自然館)・羽田麻美(日本大):秋吉台におけるドリネ地形と石灰岩上の蘚苔類の分布
P006	荻谷愛彦(専修大)・澤部孝一郎*(専修大・院)ほか:多摩川上流・保之瀬天平の山体重力変形地形とその変形履歴	P020	羽田麻美*(日本大)・乙幡康之(ひがし大雪自然館):秋吉台のドリネにおける植生変化に伴う蘚苔類の進入と溶食に及ぼす影響
P007	堀 和明(名古屋大)ほか:GPS付き魚群探知機を用いた三日月湖の湖盆図作成	P021	江口誠一(日本大)ほか:山口県秋吉台におけるドリネ畑周辺域の景観変化
P008	石川怜志*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):天井川の発達過程と形成要因	P022	黒田圭介(西南学院大・非)ほか:衛星データ(LANDSAT, ASTER, ALOS)合成空中写真による土地被覆分類図の精度評価
P009	前田拓志*(日本大・院)・藁谷哲也(日本大):房総丘陵溪流部における近世以降の岩盤河床の下刻速度	P023	Kay Thwe Hlaing(三重大)ほか: Geospatial Analysis for Characterization of the Ground Water Quality of the Hlaingtharyar Township, Myanmar
P010	丹羽雄一(東北大)ほか:オールコア試料の解析に基づく陸前高田平野完新統の堆積過程(予察)	P024	濱 侃*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):伊豆諸島にみた火山島の水質特性
P011	平塚延幸:谷川岳一の倉沢中流域堆積物中の飯綱上樽テフラとその時期の地形形成環境	P025	池上文香*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):手賀沼と印旛沼の水文環境に関する比較研究
P012	森脇 広*・永迫俊郎(鹿児島大):鹿児島湾奥、新島(燃島)の海成堆積物のテフラと ¹⁴ C年代	P026	高 優大(日本大)・山川修治*(日本大)・ほか:夏季アジアモンスーンと成層圏下部高度場との対応を中心にした気候解析
P013	松本秀明(東北学院大)ほか:東松島市宮戸島の谷底堆積物から検出された過去4000年間の津波堆積物	P027	瀧本家康(神戸大附属中等教育学校)ほか:兵庫県神戸市における海陸風の統計的解析と細密な気象観測について
P014	倉茂好匡*(滋賀県立大)・中野利昭(滋賀県立大・学):彦根市北川河口域の堆積物柱状試料を用いた過去30年の環境復元の試み	P028	赤坂郁美(専修大)ほか:内モンゴルにおける夏季降水量の年々変動とその地域特性

第1・2日目 3月27・28日 (木・金)

第 10 会 場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(木)10時~17時と3月28日(金)9時~15時に行われます。

発表者による説明は、3月27日(木)12時~12時30分もしくは3月28日(金)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P029	大西有子*・舩岡靖明(国立環境研):生物分布モデルによる温暖化影響評価における分布データの重要性	P042	西村雄一郎(奈良女子大)ほか:NHKアーカイブス災害映像に基づく2000年東海豪雨の報道マッピングの試み
P030	高橋日出男*(首都大)・首都大学東京2013年台風26号伊豆大島災害調査グループ:2013年10月に発生した伊豆大島斜面災害に関する調査報告一(1)降水の時間推移	P043	磯 望(西南学院大)ほか:福岡県における土砂災害集中地区の経年的変化
P031	鈴木毅彦*(首都大)・首都大学東京2013年台風26号伊豆大島災害調査グループ:2013年10月に発生した伊豆大島斜面災害に関する調査報告一(2)表層崩壊の発生と素因としての地形・地質	P044	黒木貴一(福岡教育大)ほか:仙台・石巻平野の津波による生垣の被害と経過
P032	渡邊真紀子(首都大)ほか:2013年10月に発生した伊豆大島斜面災害に関する調査報告一(3)崩壊地の植生と土壌	P045	矢ヶ崎太洋*(筑波大・院)・吉次 翼(慶應義塾大・院):東日本大震災被災地域における自主再建住宅の立地動向一岩手県陸前高田市の事例
P033	菅澤雄大*・伊東真佑(明治大・院):平成25年台風第26号によって生じた鳳凰三山薬師ヶ岳の登山道荒廃と小屋人の整備活動	P046	中山大地*(首都大)・土屋ひろの(首都大・学):DPマッチングを用いた地名の類似性と時間変化に関する研究
P034	長谷川 均(国士舘大)ほか:UAV(自律型飛行体)を使った空中写真の活用	P047	清水長正*(駒澤大・非)・傘木宏夫(NPO地域づくり工房):全国風穴小屋マップの作成
P035	田中 圭(日本地図センター):UAVの可能性一地域調査の有効なツールに成り得るか	P048	杉本興運(首都大・学振DC):関心生起の流動分布予測と可視化一3次元景観データとの統合アプローチ
P036	熊原康博(広島大)ほか:UAVとSfMソフトウェアを用いた断層変位地形把握の試み一根尾谷断層水鳥断層崖を例に	P049	水谷千亜紀*・東 博紀(国立環境研):Dinamica EGOを用いた土地利用変化モデルの適用と課題一埼玉県鶴ヶ島市周辺を事例に
P037	後藤秀昭(広島大):SfM(Structure from Motion)ソフトウェアを用いた数値表層モデルの作成一変位地形を撮影した1970年代の空中写真およびボールカメラの写真を用いた検討	P050	山田育徳*(中央大)・岡部篤行(青山学院大):MoranのI統計量の裾野分布が空間自己相関の検定に与える影響についての考察
P038	内山庄一郎*(防災科学技術研)・宮城豊彦(東北学院大):多時期空中写真による変化抽出一西表島仲間川下流域のマングローブ林の事例	P051	佐藤裕哉(広島大)ほか:広島原爆入市被曝者の移動経路の把握による健康影響評価の試み
P039	鈴木比奈子(防災科学技術研)ほか:劣化した空中写真のSfM処理による1964年新潟地震の液状化被害の把握	P052	福岡義隆(立正大・名誉):WBGTの気候風土差と熱中症患者実数との違いについて
P040	泉 岳樹(首都大):UAVを用いた東日本大震災復興空撮アーカイブの試み一宮城県岩沼市を対象に	P053	松本 太(敬愛大・非)ほか:ネパール・テライ低地における住居の屋内温熱環境
P041	山本遼介*(首都大・院)・泉 岳樹(首都大):モバイルマッピングシステムを用いた東日本大震災復興アーカイブの試み一宮城県岩沼市における事例	P054	鈴木重雄(立正大):千葉県夷隅郡における農林業統計による地域区分と植生分布の関係
		P055	谷地田遼介(駒澤大・院):新潟県信濃川下流域における果樹栽培の地域性

第1・2日目 3月27・28日 (木・金)

第 10 会 場

ポスター発表

ポスター発表は、3月27日(木)10時~17時と3月28日(金)9時~15時に行われます。

発表者による説明は、3月27日(木)12時~12時30分もしくは3月28日(金)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P056	藤岡悠一郎(近畿大):南アフリカにおけるマルーラ利用の多様化—企業や協同組合による非木材林産物の利用と地域住民	P071	土居晴洋(大分大)ほか:教員志望学生を対象とした体験型プログラムの有為性
P057	川瀬晴久*(徳島大・学)・豊田哲也(徳島大):徳島県の菌床シイタケ生産にみる食料産業クラスターと地域ブランドの形成	P072	山下脩二(東京学芸大・名誉)ほか:グローブプログラム—学校における環境観測にもとづいた環境教育(20年間の実践)
P058	関根良平(東北大)ほか:中国内モンゴにおける農民専業合作社の地域的展開—錫林浩特市の「風干肉」販売を事例として	P073	堤 純(筑波大)ほか:地理教育用AR(拡張現実)情報システム(3)
P059	半澤誠司(明治学院大):日本におけるコンテンツ産業の立地傾向	P074	今野絵奈(東京農業大・非)ほか:日韓中地理学会議における若手研究者の参画と研究交流
P060	伊藤修一(駒澤大):都道府県別にみた破産率分布パターンの変化	P075	元木理寿*(常磐大)・佐々木 達(札幌学院大):若手の交流の場としての日韓中地理学会議
P061	北野寛人*(徳島大・学)・豊田哲也(徳島大):周辺地域における公共事業の縮小と平成大合併にともなう土木建設業の再編	P076	駒木伸比古(愛知大)ほか:国際学会運営における情報共有に関する成果と課題—日韓中地理学会議の経験から
P062	遠藤匡俊(岩手大):1856—1869年の三石場所におけるアイヌ集落の規模と住居跡数		
P063	太田 慧*(首都大・院)・杉本興運(首都大・学振DC):日本における展望タワーの立地特性—自然条件との関連に着目して		
P064	淡野寧彦(愛媛大):愛媛県におけるいずみや(丸ずし)の受容		
P065	戸田真夏(青山学院大・非)ほか:大学生を対象としたアンケート調査による国内旅行と旅行情報源について		
P066	横山俊一(お茶の水女子大・研)ほか:『出版年鑑』による旅行ガイドブックの地域的特徴について		
P067	谷口智雅(三重大)ほか:旅行ガイドブックを使った地誌学的視点の一般への普及—東京西新宿・表参道・渋谷の事例		
P068	齊藤由香(金城学院大):スペイン・カタルーニャ自治州スピラッツ市におけるフットパスを活用した景観教育・啓蒙の取り組み		
P069	村中亮夫(北海学園大)ほか:高校地理での学習内容を活用した防災教育プログラムの実践—身近な地域の水害リスクを事例として		
P070	小山拓志(大分大)ほか:「農業・農村体験」を通じた小学校社会科の教材開発		